

意見等募集の結果について

案 件	茨木市立幼稚園再編整備計画（案）について
結果の公表場所	・ ホームページ ・ 保育幼稚園総務課（市役所南館3階）、情報ルーム（市役所南館1階）、北辰出張所、各図書館、各公立幼稚園、各公立認定こども園
意見募集期間	令和3年4月26日から5月24日まで
意見提出件数	13 人 61 件 (うち 案件にかかる意見 51件、その他の意見 10件)
意見募集時 公表資料	・ 茨木市立幼稚園再編整備計画（案）
結果公表日	令和3年6月24日
担当課	こども育成部 保育幼稚園総務課 電 話：072-655-2753 F A X：072-622-9089 Eメール：hy-somu@city.ibaraki.lg.jp

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
1	2 課題	・3歳児保育、給食の実施、預かり保育の拡充をしなければ就園児数の減少が防げたと思う。言うならば作られた就園数減少・集団形成困難である。	3歳児保育、給食の実施、預かり保育の拡充を実施している認定こども園においても就園児数は減少しております。
2	2 課題	・「公私協調」と出てきたが私立への忖度としか聞こえない。私立には売りの保育・教育があり、その教育方針を望む保護者が選んで通うのだから「子どもの取り合い」になるくらいならその教育方針が間違っているのではないか。公立が我慢したり、遠慮するところではない。	私立と公立がそれぞれの良さを生かしながらともに発展していくことが望ましいと考えております。
3	3 計画策定の経緯	・税金の話を引き合いによく出されていましたが、現場の園長が発言していた「将来への投資」という視点で考え直して欲しい。	就学前児童数や幼稚園の就園者数の減少を考慮すると、幼稚園としての存続は難しいと考えますが、子ども・子育て支援につながる活用を検討していきます。
4	3 計画策定の経緯	・茨木市立幼稚園のあり方検討委員会の開催スケジュールが過密であった。委員からの意見が回を追うごとに充実していく意見だけだに終わりありきで進められていた感がとても残念。	延べ6回の会議を実施し、適切に審議は行われたものと考えています。
5	4 新たな活用に付随する施策	・市立幼稚園の民営化で、民間に丸投げは問題である。「要支援児保育」は、行政が責任をもって取り組むべきことである。できなければ専門家に委託すべき。	本来、すべての子どもが公私を問わず就園できることがことが望ましく、それに向けた対応をしていく必要があると考えます。

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
6	4 新たな活用に付随する施策	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする子どもの受け入れについて、専門職員の増員や補助金創設は行財政改革と言いつつ税金を使っていくことにかわりないのではないか。 	茨木市立幼稚園のあり方検討委員会の答申を踏まえ、新たな施策を実施していくものであり、適切な財源の活用と考えます。
7	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園以外の園を廃園するのではなく、近くの園と合併するのは無理か。 ・東雲幼稚園と玉島幼稚園のどちらかを残して欲しい。 	本市の就学前児童数や幼稚園の就園者数の減少などを考慮すると、幼稚園としての存続は難しいと考えます。なお廃園とする園については、子ども・子育て支援につながる活用を検討します。
8	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・北幼稚園、郡幼稚園を増築工事などをして園児に来てもらえるようにすることはできないのか。 ・3歳児まで家庭保育で頑張っている家庭の子どもが入園できるように、北幼稚園の増築工事等をしての存続、または認定こども園化、郡幼稚園の存続、または認定こども園化し1号枠の設定、太田幼稚園、福井幼稚園の年中児クラスを2クラスにするための増設工事の検討を求める。 	北幼稚園及び郡幼稚園につきましては、既存施設を活用しての認定こども園化は保育スペースの確保が難しい状況です。また、子どもの数が減少する中、私立幼稚園を含めた幼稚園全体の就園者数の減少が今後も見込まれることから、現在のところ、いずれの幼稚園についても増築工事等は考えておりません。
9	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての幼稚園を認定こども園化し、それでも就園数が減るなら廃園を検討してもよい。 	本市の就学前児童数や幼稚園の就園者数の減少などを考慮すると、全ての公立幼稚園を認定こども園化することは、難しいと考えます。

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
10	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児検診で発達課題を指摘された子どもの受け皿としても公立幼稚園が受け入れていくことは市民の願いに応えていくものだと思う。民間も限界が見られる。 	<p>継続して運営する公立の認定こども園において、今後も発達に課題のある子どもを受け入れていきます。 また、私立幼稚園での受入促進のための施策に取り組んでいきます。</p>
11	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の要望に応じて増えた幼稚園、子どもの数が必ず減少する確かな見立てとは思えない。マンションも多く建ち、若い世帯も茨木を選んで住むように感じている。少子化を止める施策を打ち出し、次なる茨木を担う子どもたちを大切にする市であってほしい。 	<p>今後も、子ども・子育て支援を取り巻く社会環境の変化に的確に対応し、茨木の子どものための施策を進めてまいります。</p>
12	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の需要は減っているが、今しか居られない貴重な時を3歳まで家で見守りたいという保護者もいる事を忘れないでほしい。 ・廃園が避けられないのであれば、せめてもう少し猶予が欲しい。少なくとも2年保育で予定している子どもが、幼稚園に入園できないようになることはないようお願いしたい。 	<p>公立認定こども園においては、3歳児クラスと4歳児クラスに定員の差を設けており、4歳から幼稚園へ就園することも可能な定員設定をしております。</p>

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
13	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・急な廃園ではなく、もう少し保護者に余裕のある廃園を計画してほしい。 ・公立幼稚園の廃園はできれば中止、少なくとも延期してほしい。 ・赤字なのはわかるが、廃園にするのは急すぎるのではないか。子どもをどこに通わせるかは皆妊娠出産時から考えていると思う。いきなり2年後に廃園と言われたらとても困る。 ・あと2～3年で廃園と言われてもコロナの中園庭開放も幼稚園見学もできない状況で下の子を行かせる所を決定するのは困難、兄弟が別の園に通うことになると送迎や行事などを考えると難しい。このような状況の方への配慮をして欲しい。 	<p>年々就園者数の減少により、集団形成が難しくなっており、集団生活の中で成長を促すことが困難になってきております。そのような状況を長引かせることは、幼稚園教育の観点から適切ではなく、早期に解消する必要があると考えます。</p> <p>なお、周知期間が短いとのご意見をいただいたことから、北・天王幼稚園の2園につきましては、廃園時期を令和4年度末から令和5年度末としました。</p> <p>きょうだいで別の施設に通うことについては、どの時期に廃園を実施してもそのような状況を完全になくすことは難しいと考えます。なお、きょうだいが揃って入園できる幼稚園等をお探しの場合、公立施設については市に、民間施設については施設に直接ご確認いただければと思います。</p>
14	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・今の計画だと、郡幼稚園に令和4年に年中で入園しても、翌年度に年中クラスが入園しないため、行事や異年齢交流ができないのではないか等、不安や疑問が沢山ある。 	<p>他園との交流を行うなど、行事や保育内容を工夫してまいります。</p>

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
15	5 再編整備計画(案)	<p>・廃園するのであれば廃園後の受け皿になるように周りの認定こども園や幼稚園の定員数拡大を考えていただきたい。</p>	<p>私立幼稚園や継続して運営する公立認定こども園の幼稚園枠の定員に余裕があることから、現在のところ定員数拡大は必要ないと考えます。</p>
16	5 再編整備計画(案)	<p>・認定こども園の利用定員の割合の変更を検討とあるが、市立幼稚園が定員を超えて希望者を入園させてきた「公」の精神は引き続き生かしてもらい、行き場がなくなる子どもは決して作らないでほしい。</p>	<p>現在公立で運営している認定こども園においても幼稚園枠の定員に余裕があることから、どこにも就園できないという状況は生じないと考えております。なお、再編整備を実施してもなお、幼稚園枠の定員に余裕が生じる場合に利用定員の割合の変更を検討する考えです。</p>
17	5 再編整備計画(案)	<p>・私立幼稚園は経営があり特色を出すために園児を選ぶことを続けていくのではないかと。公立幼稚園がなくなれば、入園できない子どもが増える事になるのではないかと。</p>	<p>公立幼稚園の就園者数は減少しており、公立認定こども園においても幼稚園枠の就園者数は減少傾向にあります。そのため、どこにも就園できないという状況は生じないと考えております。</p>
18	5 再編整備計画(案)	<p>・市で入園希望の子を全員入園させることを強制することができないのか、できないのであれば公立幼稚園が存在する意味はあるのではないかと。</p>	<p>私立幼稚園においては、各園の建学の精神に基づき入園の選考が行われているため、市から私立施設へ入園を強制することはできませんが、入園希望の子の受入について働きかけてまいります。</p>
19	5 再編整備計画(案)	<p>・天王幼稚園の廃園から民間の認定こども園の受け入れが始まるまでの期間は、天王小学校区での子どもの受け入れ枠が減ることになるので、その期間に入園年齢になる子ども達への救済措置として、天王小学校区もしくは天王小学校区近隣の私立幼稚園、保育園に対して受け入れ枠を広げるように要望してほしい。天王小学校区に住む幼児が、近くに通える幼稚園がなくて困ることがないように対応いただきたい。</p>	<p>就学前児童数の推移、近隣施設での受入枠等を考慮し、計画案を作成しているため、天王小学校区近隣の私立幼稚園、保育園に対して受け入れ枠を広げるように要望することは考えておりませんが、現在でも公立の認定こども園水尾幼稚園の幼稚園枠の4歳児で定員に余裕がある状況です。</p>

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
20	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・郡幼稚園の近くのこども園にとも考えるが抽選の可能性が大きいとのことで入園できるか不安になる。 	郡幼稚園の近隣の公立認定こども園の幼稚園枠の3歳児の受入に関しては抽選となっておりますが、4歳児に関しては定員に余裕がある状況です。
21	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園を保育内容、金銭的な理由で選んでおり、天王幼稚園が閉園すると通わしたい幼稚園がなくなる。 ・2年保育の良いところを残して欲しい。 ・保育内容、金銭面の理由で公立幼稚園を希望している保護者がたくさんいるため、公立幼稚園が廃園になり、民営化されることに反対する。 ・天王幼稚園の廃園が避けられないのであれば、新しくできる民間の幼保連携型認定こども園には、公立幼稚園が担ってきた役割(小学校との連携、支援が必要なこどもの受け入れ、外国籍のこどもの受け入れ、転勤での年度途中での受け入れ等)を引き継いでくれることを期待する。 ・天王幼稚園の私立幼保連携型認定こども園化に向けた公募の際には、1号枠の定員をなるべく十分に取ってほしい。 	公立幼稚園を民間の認定こども園とする場合は、運営事業者の選定については、公募による選定を予定していることから、幼稚園枠と保育所枠の内訳、保育内容、金銭面等について一定の条件を付すことが可能と考えています。

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
22	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・在園児の保護者だけでなく、これから利用する人、利用したい人を含めて広く市民に意見を聞くべき。 ・もっと長い移行期間を設けて、市民周知を十分にはかった上での閉園という流れが望ましかったと思う。 	<p>茨木市立幼稚園のあり方検討委員会では、公募により参加いただいた市民委員からご意見をいただきました。また、広く市民に意見をお聞きするために、本計画(案)についてのパブリックコメントを実施いたしました。</p>
23	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・天王幼稚園について、令和5、6年度2年間の園児受け入れのない期間を作らずに、私立認定こども園の移行は不可能か。 ・天王幼稚園は閉園せずに民間へと移行することが望ましいと考える。幼稚園の運営は継続しつつ、安全を考慮し工事を進めていただきたいと思う。 	<p>認定こども園化に伴う施設の工事を行うことから、工事中の子どもの保育環境と早期の認定こども園の開園を考えると運営を継続しての移行は難しいと考えております。</p>
24	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・沢池幼稚園を廃園にし、現在の建物は児童館(学童)とシニア活動の場として活用する(災害時は避難所にする)。 ・沢池幼稚園は、小学校の空き教室を使って幼・小一貫校にする。 	<p>沢池幼稚園は、西ブロックに位置し、小規模保育事業所の保育の提供終了後の受入体制確保が課題となっている地域であることから、3歳児から5歳児までの公立の認定こども園を計画しております。</p>

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
25	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・天王幼稚園は、周辺に幼稚園・保育園が増えており、周辺の園の経営が困難になるため、不必要。 ・各家庭に車があり、親の勤務先、保育内容で入園先を選んでいるので公立幼稚園を民営化しても園児増加は見込まれない。 	<p>天王幼稚園は0歳から2歳の保育需要に対応するため、0歳から5歳児までの認定こども園化を予定しております。当該地域は子どもが多い地域であり、今後も保育の受入枠は必要であると考えております。</p>
26	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園にするなら私立ではなくて公立にして欲しい。 ・天王幼稚園は保育需要が多くあるのが分かっているながら、公立保育所として開所しないのは、「効率的な財源の活用、モデルケース」ということですが、あきらかに行政の怠慢である。 	<p>私立での認定こども園化を考えている幼稚園につきましては、0歳から5歳児までの認定こども園化を予定しており、民間事業者は国の補助制度を活用できるなどの理由から民間事業者による運営を考えております。</p>
27	5 再編整備計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模保育事業所の乱立により、3歳児難民を作ってしまった事実と幼児教育無償化の影響を考えると、3歳児受け入れは責任を取るべき。 ・本来なら入園してから5歳児まで見通せる施設を用意するのが市の責任である。「公私協調」というしがらみで保護者(市民)の想い・願いを切り捨てているのではないのか。 	<p>小規模保育事業の保育の提供終了後の受入体制確保が課題となっている地域については、公立幼稚園の認定こども園化などにより、確保できるよう努めていきます。</p>

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
28	5 再編整備計画(案)	・北辰幼稚園の活用策を検討中ではなく具体的な提案が早期にあるべきである。	行政課題や立地条件などを踏まえて活用を検討します。
29	5 再編整備計画(案)	・東雲幼稚園の廃園後は、公立の療育施設になるのか。	東雲幼稚園の廃園後は、支援を必要とする子どもが通所できる療育施設として活用を検討していますが、具体的には今後の検討になります。
30	5 再編整備計画(案)	・北幼稚園は廃園が来年度で、公立の親子広場になるのか確認したい。すくすく親子教室療育を受けた後の親子が療育希望の場合は民間への勧めとなっているが、公立での受け入れができる施設を開設すべき。	北幼稚園の廃園は、令和5年度末に廃園予定です。廃園後は、子ども・子育て支援につながる活用を検討しますが、具体的には今後の検討になります。
31	5 再編整備計画(案)	・玉島幼稚園は、今後も来るであろう待機児童のことも考え、公立の認定こども園化してはどうか。	玉島幼稚園は、隣地に定員増のために改築している私立保育園があることや近隣に私立の認定こども園が新設され、今後の保育需要への対応が進んでいることから廃園とし、廃園後は、子ども・子育て支援につながる活用を検討します。
32	5 再編整備計画(案)	・公立幼稚園で勤務する経験豊かな、能力の高い教諭が茨木市外へ流出するのを避けてほしい。	廃園予定の園で勤務する教諭につきましては、運営を継続する園において引き続き、勤務を続けていただくことを考えております。

提出された意見等及び市の考え方

通番	項目	意見の概要	市の考え方
33	5 再編整備計画(案)	・沢池幼稚園を認定こども園化する際は、安全に配慮した施設整備をしてほしい。	沢池幼稚園の立地条件を考慮に入れたうえで、安全に配慮して施設整備を行います。
34	5 再編整備計画(案)	・郡幼稚園は郡保育所の分園ということだが、保育所運営が円滑にできるように現場の意見や意向を反映してほしい。	保育現場の意見や意向も聞きながら計画を進めてまいります。
35	5 再編整備計画(案)	・庁内で検討を行うときには現場の園長・教諭の意見を聞き、市立幼稚園全体を存続させてもう一度見直す猶予を是非ともお願いしたい。	庁内において園長を含めた検討会を実施しました。また、審議会においても公立幼稚園の園長が委員として参加しており、その意見も踏まえて本計画(案)を作成しております。

その他のご意見

いただきましたご意見については、今後の参考にさせていただきます。

通番	意見の概要
1	2 課題文中「地域の子育て支援施策の一層の推進が不可欠である」旨追加されたい
2	概要版を作成し市内公共施設に配布されたい。
3	(5)認定こども園5園について文脈中、認定こども園法に基づき「認定こども園の普及推進」に専心されたい。
4	庄栄幼稚園は公立で存続となり安心した。
5	天王幼稚園の廃園が当初より1年延期になってよかった。ぜひ1年延期で決定していただきたい。
6	1号認定枠の抽選を不平等、不公平にならないような対策を求める。
7	保護者ニーズとのミスマッチとあるが、ミスマッチとあるのに対応してこなかった怠慢である。公立保育所を民営化し、予想外の待機児童が増加し幼稚園の就園数に差が出たのが原因である。
8	保護者のニーズに応えていたら長時間保育で運営経費が増えるのは当然であり、それを切り捨てられるのが理解できない。「切れ目のない支援」と言われている市の子育て支援として捉えられないのが悲しい。
9	コロナ禍で子育て支援も中止になり、他園の見学もできず秋には願書提出になり不安と焦りばかり。
10	当事者である年少児以下が参加する各公立幼稚園の園庭開放時には、検討委員会のアナウンスがなかった。